

科目名 (科目番号)	救急救命医学概論 (時間割参照)	教員名	平塚 圭介	学科等	医療技術	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	救急医療とは疾患や外傷、中毒などに対し緊急的に行われる診断治療であり、重症度に応じ一次救急（帰宅可能な患者）、二次救急（入院が必要な患者）、三次救急（二次で対応できない重症例）がある。本科目では災害医療における治療優先度を定める上でのトリアージや、救命の基礎知識と一次救命処置（胸骨圧迫による心臓マッサージや人工呼吸法など）、自動体外式除細動器（AED）の使用法 などについて学ぶ。また、救急救命医療に関連が深い脳死と臓器移植についても学ぶ。							
目的・目標	目的:救急救命医療、一次救命処置、脳死と臓器提供についての知識を身に付ける。 目標:①救急医療の体制と対象疾患および災害医療について学習する、②一次救命の講習を受ける、③救急救命の現場で遭遇する可能性がある脳死、および臓器提供について学習する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	麻酔科学、全身麻酔	到達目標:麻酔科学の歴史、手術室での麻酔、吸入麻酔、静脈麻酔、気管挿管と気道確保、全身麻酔で使用するその他の薬物を理解する 学習内容:麻酔科学の歴史、手術室での麻酔、吸入麻酔、静脈麻酔、気管挿管と気道確保、全身麻酔で使用するその他の薬物					
	2	麻酔器、術中モニタ	到達目標:麻酔器・麻酔関連機器、術中モニタとモニタ機器、麻酔と合併症、麻酔・手術と周術期、手術用機器、手術室内での安全管理を理解する 学習内容:麻酔器・麻酔関連機器、術中モニタとモニタ機器、麻酔と合併症、麻酔・手術と周術期、手術用機器、手術室内での安全管理					
	3	区域麻酔および局所麻酔	到達目標:脊椎くも膜下麻酔、硬膜下麻酔、局所麻酔、伝達麻酔を理解する 学習内容:脊椎くも膜下麻酔、硬膜下麻酔、局所麻酔、伝達麻酔					
	4	ペインクリニック、緩和医療	到達目標:ペインクリニック、神経ブロックと対象疾患、緩和医療を理解する 学習内容:ペインクリニック、神経ブロックと対象疾患、緩和医療					
	5	救急医療1	到達目標:救急医療、救急医療体制、災害医療、救急・集中治療における終末期医療、患者搬送を理解する 学習内容:救急医療、救急医療体制、災害医療、救急・集中治療における終末期医療、患者搬送					
	6	救急医療2	到達目標:救急処置、心肺脳蘇生、患者管理を理解する 学習内容:救急処置、心肺脳蘇生、患者管理					
	7	集中治療1	到達目標:集中医療体制 ICU CCU NICUを理解する 学習内容:集中医療体制 ICU CCU NICU					
	8	集中治療2	到達目標:患者管理(呼吸・循環管理、術後管理) 感染制御を理解する 学習内容:患者管理(呼吸・循環管理、術後管理) 感染制御					
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通：期末試験(100%)							
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ	オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、WEBクラスルームで変更のシラバスを周知します。							